

新型コロナウイルス感染拡大防止等に向けての留意事項

※「九州建設技術フォーラム 2020」の開催運営に当たっては、会場管理者（福岡コンベンションセンター）が示す施設利用のガイドラインを踏まえ、本フォーラム運営事務局では、以下の通り留意事項を取りまとめました。ブース出展者におかれましては、内容をご確認いただき、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご協力くださいますようお願いいたします。尚、留意事項は、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、随時、修正・加筆する場合がありますので、予めご了承ください。

●会場計画について

○展示ブースの設置数は、収容率50%以内を踏まえて配置を行う。また、ブース内のスペースは、説明スタッフの間隔が「三密」状態を回避できるように十分な広さを確保する。さらに、来場者用通路についても、ブースを見学する来場者同士の間隔は同様の配慮を行う。

▼具体的なブース配置及びホール内配席案 ※詳細は別紙参照（本資料 P5～P6）

（ブース展示会場）

- ・1F ロビー：昨年度までの配置を踏襲する。ただし、換気性を確保するために、会場出入口（屋外）に配置はしない。同時に出入口は常時開放する。
- ・2F 多目的ホール：昨年度までと比較した場合は、展示ブースの横幅を 2.7m から 4 m に拡大。また来場者用の通路を確保するため、設置ブースブロックの前後は5m、左右は4m～5mのスペースを確保する。また、換気性に配慮して出入口は常時開放とする。尚、展示ブースの設置数は従来の 100 ブースを 54 ブース程度までに減らすことで、会場内における来場者の密集・密接を回避するように配慮する。因みに、来場者収容キャパは、通常の 1500 人規模から最大 750 人規模まで抑制し、収容率 50% を確保する。尚、収容率50%をオーバーする場合は、運営事務局において会場内への入場を制限する。

（基調講演会場）

- ・3F メインホールは、通常 1000 人の収容能力を 50%（最大 500 人）に抑えるために、座席は隣り及び前後の密接を回避するために両サイドと前後の席は空席とする。また換気性に配慮して出入口は常時開放とする。尚、収容率50%をオーバーする場合は、運営事務局において会場内への入場を制限する。

(プレゼンテーション会場)

- ・会場は、4F の中会議室を使用する。聴講者の席はシアター形式での配席とするが、隣接しないようにソーシャルディスタンスを確保し、収容人数も収容率50%となる最大64人とする。また換気性に配慮して出入口は常時開放とする。尚、収容率50%をオーバーする場合は、運営事務局において会場内への入場を制限する。

●受付計画について ※詳細は別紙参照（本資料P7）

(一般来場者受付)

- ・受付用機の配置は2m程度の間隔を確保すると同時に、受付時の来場者の密接を回避するために、整列用にローピング（仕切り）を行うと同時に、受付待機者の立ち位置にはソーシャルディスタンスに配慮して一定間隔でマーキングを行う。また、飛沫予防措置として、机の前には飛沫予防の透明パネルを設置（運営事務局で）する。

(CPD 受付)

- ・机の配置及び受付スタッフの対応等については「一般来場者受付」に準じるものとする。

●感染防止対策について

○関係スタッフ

(出展ブース内スタッフ)

- ・各自マスク及びフェイスガードを着用する。また、来場者が接触した展示物等については、その都度、消毒を行う。また、ブース内での対応は二人までとする。展示物については、出展者にて本番開始前及び終了時に消毒を行う。尚、スタッフ用のマスク及びフェイスガードは出展者にて準備する。

(プレゼンテーションスタッフ)

- ・プレゼンター及び進行管理スタッフはマスク着用。また、プレゼンター用機の前には、飛沫予防の透明のパネルスタンドを設置（運営事務局で）。

○感染予防用備品の設置

(体温の検温機器)

- ・1F 正面玄関には、来場者全員の体温を計測するために、運営事務局がサーモグラフィを設置する。

(手指消毒液)

- ・ 国際会議場の正面玄関入口、1F エスカレーター乗降口、2F 多目的ホール会場入口、3F メインホール会場入口、4F プレゼンテーション会場入口には、適当数を配置する。
- ・ 来場者が直接手を触れる・操作する可能性がある機器類等を展示するブースについては、出展者が手指消毒液をセットする。
- ・ 2F の受付コーナーについては、上記の「関係スタッフ」の項目で記載の通り。

(マスク)

- ・ 運営スタッフ、出展者、来賓、来場者については、各自準備したマスクの着用を厳守とする。また所持していない来場者には、運営事務局にて予備用のマスクを支給する。

(フェースガード)

- ・ 展示ブースについては、飛沫予防の透明パネル等の設置が困難と考えられることから、ブース運営スタッフは、全員フェースガードを着用するものとする。尚、フェースガードは出展者にて準備するものとする。

(飛沫予防の透明パネル)

- ・ 不特定多数との接触が想定される場所となる受付コーナーやプレゼンテーション会場のプレゼンター席等については、運営事務局が飛沫予防としてスタンド式の飛沫予防の透明パネルを設置する。

○一般来場者及び出展者（ブース運営担当及びプレゼンテーション担当）情報の把握

※今回オンラインシステムにより入手した個人情報については、本フォーラムでの受付情報整理及び新型コロナ感染拡大防止対策以外の目的で使用することはありません。

(一般来場者)

- ・ 一般来場者の受付は、オンラインシステムを活用したスマートフォンによる事前受付を行うこととし、手続き等の詳細については、準備ができ次第本フォーラム専用ホームページで公表の予定。オンライン受付時には、全員に氏名、所属、連絡先、住所に関する情報提供をお願いする。ただし、本システムを活用した事前受付が困難な場合は、本番当日、会場内の受付コーナーにて受付を済ませることとする。
- ・ 受付コーナーにおいて、来場者全員に対し氏名、所属、連絡先、住所が確認できる名刺の提出を求める。名刺がない場合は、上記項目が記入可能な受付用紙に記入していただくことで、万一の場合における感染経路の追跡・確認ができるように配慮する。

(出展者 (ブース運営担当及びプレゼンテーション担当))

- ・出展者についても、オンラインシステムを活用したスマートフォンによる事前受付を行うこととし、手続き等の詳細は、上記「(一般来場者)」で記載のとおり。
- ・受付コーナーにおいて、出展者全員に対し氏名、所属、連絡先、住所が確認できる名刺の提出を求める。名刺がない場合は、上記項目が記入可能な受付用紙に記入していただく。
- ・出展者については、本番期間中に会場へ入場する場合は、会場正面玄関及び各会場の指定の出入口からのみ入場することとして、それ以外の荷物搬入用口等から入退場は厳禁とする。

●開催中止にかかわる経費の補償及び負担

(参加費に関する中止補償金負担)

- ・出展者にご負担いただく「参加費」については、出展受理以降は本フォーラムに関する諸々の情報発信や会場配置計画、プレゼンテーション計画、当日配布用リーフレット作成等の諸々の経費を含んでいる。従って新型コロナ感染拡大等により本フォーラムが中止になった場合でも、中止補償金として一定の参加経費のご負担をお願いすることとする。負担額は、10,000 円程度を予定。

(ブース出展費に関する中止補償金負担)

- ・ブース出展については、例年 10 月が、イベント開催が集中する“イベント繁忙期”にあたることから、本番 1 箇月前から必要資機材及び設営人員等の不可欠となることから、実際に設営物等の搬入・設営等の実作業が発生しない場合でも、運営事務局 (設営担当部門) では、ブース出展申込者に対して、一定の中止補償金のご負担をお願いする。詳細は以下の通り。

■中止補償金の内訳

- ・本番当日から 20 日前 (～10 月 1 日) の場合 : 展示ブース設営・撤去費の 50%
- ・本番当日から 14 日前 (～10 月 6 日) の場合 : 展示ブース設営・撤去費の 80%
- ・本番当日から 7 日前 (～10 月 13 日) の場合 : 展示ブース設営・撤去費の 100%

※「展示ブース設営・撤去費」には、白布、スポットライト、名刺受、カタログスタンド等の追加備品の経費は含まない。ただし「本番当日から7日前」の中止の場合は、追加備品の経費も含むものとする。

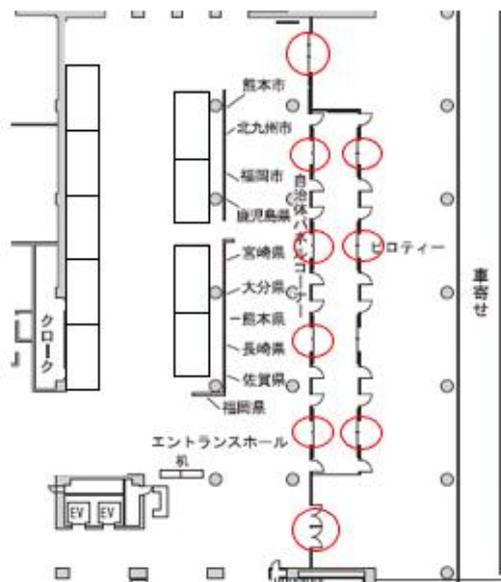
(別紙)

●具体的なブース配置及びホール内配席案

■1階ロビー展示会場計画図(合計9ブース)

※1ブースのサイズ: W5400×D2700

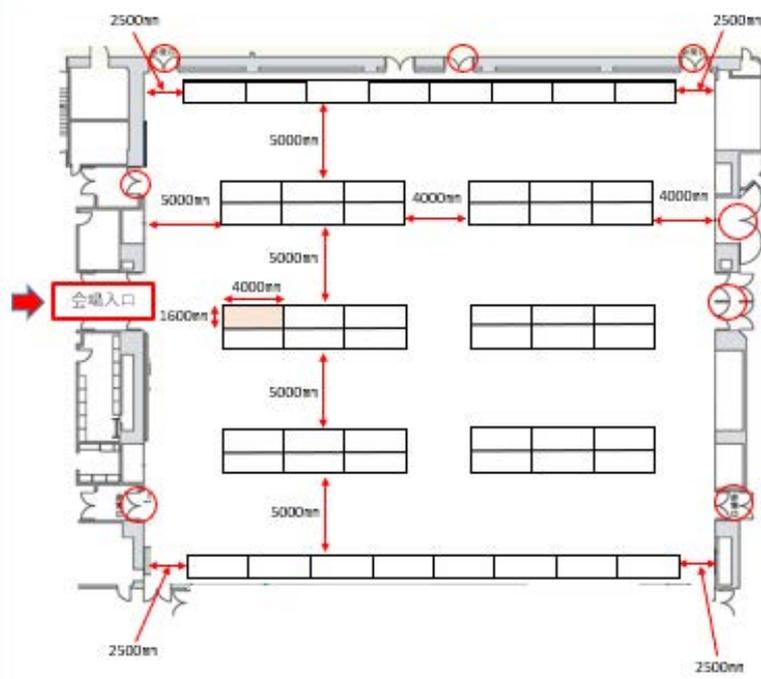
※会場内出入り口(○)はすべて開放



■2階展示会場計画図(合計62ブース)

※1ブースのサイズ: W4000×D1800

※会場内出入り口(○)はすべて開放

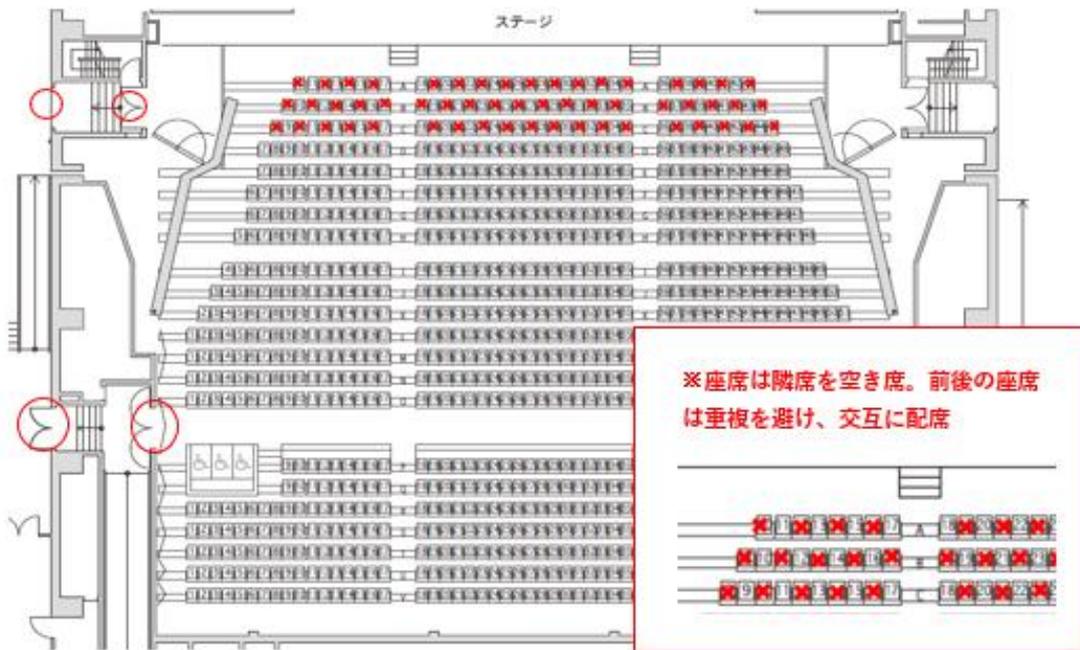


■5階メインホール配席図

座席数：約500席（占用率50%）

※会場内出入り口（○）はすべて開放

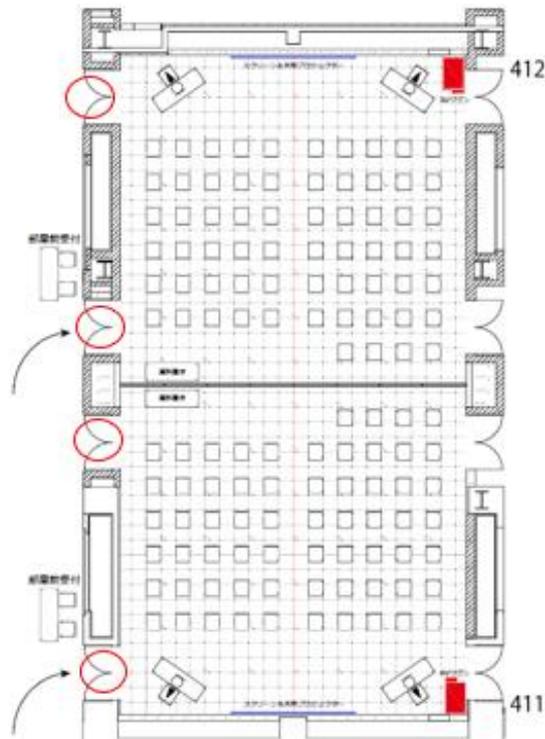
▼配席イメージ



■4階プレゼン会場配席図-B室（中会議室利用）

※1会場：64席（占用率50%）

※会場内出入り口（○）はすべて開放



(別紙)

●受付計画について (※CPD受付は、2Fロビー内で変更する場合があります)

■2階ロビー来場者受付・CPD受付

